

支部だより

夏号 No. 63

令和4年8月

(一社)東北電気管理技術者協会

山形県支部

【禁複写】



～ 目 次 ～

副支部長 ご挨拶 「安全に！」をモットーに	副支部長 栗田 浩二 … 1
令和4年度 本部・支部総会開催 及び第1回研修会報告	広報委員 岸 勇一 … 2
新会員のご挨拶	山形地区 福躍 義和 … 4
	置賜地区 横山 慎藏 … 5
失敗は成功のもと	酒田地区 高橋 良 … 6
我が家の宝物	新庄地区 笠原 政彦 … 8
おすすめスポット地元自慢	山形地区 鈴木 敏明 … 10
業績表彰 10年を受賞して	鶴岡地区 宅井 二郎 … 12
	酒田地区 江澤 徳之 … 14
山形県支部の動き・会員の動き	広報委員 岸 勇一 … 15

表紙のことば

鶴岡地区 会員番号850 菅原俊一

年々再生可能エネルギーに対する関心の高まりと活用事例が増えて、私が受託しているお客様設備にも太陽光発電装置が導入され電気代の効率化に貢献しています。高所に設置されていることからドローンによる写真撮影にて設備の健全性を確認しています。飛行・撮影ともに性能が向上し接近しなくとも鮮明で色々な角度から見ることができます。

「ご安全に！」をモットーに

副支部長 栗田 浩二

ふと気づけば、当協会にお世話になってから17年目を迎えました。正に「あっ！」という間でした。前の職場には20年間携わっておりましたが、それと比べてみても年月の加速度的な通過を痛切に感じます。入会当時高校生だった娘たちも三十路を迎え、孫も授かりました。まだまだ若いいつもですが、歳をとるわけですね。

入会順の地区幹事で役員デビューした後、私のような者でもお役に立てればと、広報委員を3期やらせていただきました。会報や支部だよりへのご寄稿を介して、ネットワークも広がりました。貴重な体験だったと感謝を申し上げる次第です。

さて今般、副支部長を拝命することになりました。支部の運営については分からぬことだらけですが、支部長はじめ諸先輩

方からのご指導を賜りながら精励する所存にございます。

日常の業務については、法令順守と安全管理が最重要と考えております。お客様の安全と財産を守ることはもとより、会員の皆さま自身の安全管理を怠ることはできません。研修会などを通じて少しでも多くの情報を提供し、皆さまのお役に立てればと考えております。

はなはだ微力ではありますが、着任の抱負としてご挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今日も一日
ご安全に！



支部通常総会 本部定期総会

開催報告

広報委員 岸 勇一

令和4年度 山形県支部通常総会

日時 令和4年4月27日（水）13時

場所 日本の宿 古窯（上山市）

支部通常総会は支部長の挨拶から始まり
次に資格確認が行われました。出席者44名、
委任状18名で過半数を超えていたため本
総会は成立するとの宣言の後、議長選出に
入りました。

議長には山形地区の海野陽一さんが選出
され、次の議案が原案通りで可決承認され
ました。



第1号議案

令和3年度 事業報告

支部事業（会務）報告

承認の件

第4号議案

支部規約語句修正承認の件

議事終了後令和4年度・5年度の支部役員
及び新会員の紹介が行われました。新会員
の福躍義和さん、横山慎蔵さんには本誌
に新会員のご挨拶を寄稿していただきました。
そして、技術安全員を勇退された東海林
健治さんに対し感謝状と記念品が贈呈され
ました。



ここで休憩を行い次の内容で研修会を行
いました。

第2号議案

令和3年度 収支決算報告

財産目録

貸借対照表

監査報告書承認の件

第3号議案

令和4年度 事業計画（案）

収支予算（案）報告承認の件



令和4年度 第1回研修会

1. 会務報告（本部各委員他）
2. 協会の現状について
 協会本部 専務理事
3. 東北電力㈱より情報提供
 燃料価格高騰に伴う
 当社を取巻く環境について
4. 地区持ち回り発表（山形地区）
 便利なアプリについて

協会の現状についてでは、協会本部の専務理事で伊藤様よりいろいろな面から話を聞いていただきました。ありがとうございました。

東北電力からは、燃料価格高騰に伴う当社を取巻く環境についてという題で講演していただきました。世界的に燃料価格高騰と電力ひっ迫が発生しており、これはウクライナとロシア情勢がもたらしていることで長期化する可能性があるとのことでした。

地区持ち回り発表では、山形地区の大場吉裕さんから「便利なアプリについて」の説明をしていただきました。まだまだ私の知らない色々な機能があることに驚き、そしてそれを少しでも使いこなせるようになりたいと思いました。



講演中の大場氏

第35回 本部定時総会

（令和4年度）

日時 令和4年5月25日（水）13時30分
場所 日本の宿 古窯（上山市）

今回の定時総会は地元山形県上山温泉日本の宿古窯での開催です。新型コロナウイルス感染者数がなかなか減らないこの時期ですが、感染対策を万全にして通常の開催となりました。司会に栗田浩二副支部長・仮議長に須貝一彦副支部長・議長に山形地区の田中均さんで議事が進行し第1号議案から第3号議案まで承認されました。

議事終了後 表彰者の表彰式がありました。表彰者は以下の通りです。

◇業績者表彰◇ (10年)

会員番号 791 江澤 徳之
会員番号 795 舟山 和彦
会員番号 797 宅井 二郎

◇功績者表彰◇ (20年)

会員番号 572 八嶋紀久男
会員番号 590 蒲生 定男

◇功績者表彰◇ (30年)

会員番号 54 備里川 勉
会員番号 156 鈴木庄市郎
会員番号 172 旭 一彦
会員番号 187 竹田 吉男

新会員のご挨拶

「孔子に学ぶ」

山形地区 会員番号 987 福躍 和義

孔子の言葉をかりて

私の母校は県立新庄工業高校で昭和63年、電気科に入学しました。昭和・平成・令和へと時代は流れ、今年50歳になりました。

孔子の『論語』に「子曰（のたま）わく、吾十有五（じゅうゆうご）にして学に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず、五十にして天命を知る、六十にして耳従（したが）う、七十にして心の欲する所に従いて矩（のり）を踰（こ）えず。」と言う一節があります。

口語訳にすると、「先生がいわれた。わたしは15歳で学問に志し、30になって独立した立場を持ち、40になってあれこれと迷わず、50になって天命をわきまえ、60になってひとの言葉が素直に聞かれ、70になると思うままにふるまって道をはずれないようになった。」とあります。

引用 “レフェレンス共同データベース”

私は15歳から電気を学び、30の頃は世界金融危機で這いつくばり、40で電験三種の勉強をはじめ、50で電気管理技術者の道を選びました。

電気保安業務の経験は実質的に2年ほどで、先日は工事の打ち合わせで経験不足を痛感しました。

通常の点検は当たり前。お客様の要望にしっかりと応えられるようにならなければ電気管理技術者とは呼べないのかもしれません。

コロナ禍で営業活動は自粛しており、厳しい状況ではありますが、孔子の教え「50にして天命を知る」ことができるよう、自分が成すべきことを見据えて、励みたいと思います。

この先60、70と歳を重ねて行くわけですが、まだまだ道の半ば、お客様と仲間の言葉をしっかりと聞き、法令遵守！道をはずれないように電気管理技術者として頑張りたいと思っています。

個人事業を始めるにあたり、多くの方からご支援をいただき、管理技術者協会への入会には県支部事務局の片岡さんをはじめ、皆様のご尽力をいただきました。

この場をお借りして感謝申し上げます。いたらないところはありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

「遅咲きのスタート」

置賜地区 会員番号 988 横山 慎蔵

私は今年3月に入会させて頂きましたが、6月で67才と相当遅咲きのスタートとなりました。昨年6月まで地元の製造業の会社で46年間勤務し、電気設備の保守と工事を6年程担当の後、電気設備の計画、工事監督等に40年従事してきました。

入社直後は親年代の職人肌の先輩達に、酒を飲めない奴には仕事は教えられないと、酒の弱い私は毎日の晩酌付き合いが仕事より辛かったものでした。しかしその先輩のご指導が今でも電気屋としての基礎となっていることは間違ひありません。

その後は、新增設の計画と工事管理側が主体となり現場からは離れてしまっていました。元上司が二人、退職後に電気管理技術者の仕事を始められ生き生きと多忙なに生活送っていることを聞いており、何度か

お誘いを受けた事もありましたが、主任技術者でしたし、丁度新規事業が始まり受電設備の更新と製造工場増設で目の回る時期で、会社を外れる事など考えられない時期が続きましたが、事業も一段落し主任技術者の後任も見つかった事を機に66才で退社する事としました。

退職後は地元で資格を活かした仕事ができればと思い、在職中新設工事の際耐圧試験に幾度も来られていた電気管理技術者のS様を頼り、何から何までお世話になり昨年12月に賛助会員に入会し、勢いでお客様まで紹介頂いて今年3月に正会員に入会させて頂いた事は実に幸いで、S様には深く感謝しているところです。



失敗は成功のもと



『失敗は感性を磨く』

酒田地区 会員番号 913 高橋 良

『失敗は成功のもと』をテーマに原稿を依頼された。

今まで失敗を随分としてきた。失敗のすべてに失望感、無力感、無能感といった苦い思い出がこびり付いているわけではないが、成功がくっつく失敗は、蓋し記憶にない。とても書けそうにないので、最近失敗したことをいくつか拾いだして失敗談として綴ることをお許しいただきたい。特別なことはなく平凡な事例ではあるが・・・。もちろん仕事上の失敗である。

その1：ブレーカーは「入」なのに・・・。年次点検で絶縁不良があった。当該幹線先の電灯盤で絶縁不良回路を特定するため、20以上はある分岐ブレーカーを1個ずつ切りながら探索する。漸く見つかって、切った分岐ブレーカーを1個ずつ復帰して原状に戻す。最終確認。入切確認よし！作業を終え、月次点検報告書に「△△電灯盤で○○回路は絶縁不良です。漏電による電気事故を未然に防止するためにも 0.1MΩ以上に改修して下さい。」省令第58条と記載して客先に説明を終えると次の点検先に向かった。出発後間もなくして、プルルプルと携が鳴った。

「○○室のコンセントに電気がこないのですが・・・」先程年次点検を終えたお客様の声である。ブレーカーを入り忘れたか？複雑な気持ちで到着した。ついさっき絶縁不良でいじった電灯盤だ。ブレーカーは間違いなく全て「入」で問題ない。おかしい何故だろう。



そこでそのコンセント回路のブレーカー二次側を検電してみた。反応なし。1970年代のブレーカーであった。切って入れて難なく通電したが、同じ失敗をしないための最善策は何だろうと考えた。

その2：年次点検前に低圧非常用予備発電機(⑥)の自動起動を確認したい・・・。そんな客先の無謀な要請があり（理由はあえて尋ねなかった）、指定された昼休み時間にやることになった。PAS開放でやればベターなのだが、単独作業のためVCB（手動バネ式）を開放して実施することにした。



いざ、VCB 開放→⑥起動→電圧確立→商用から発電へ切替と進んで、照明の点灯、非常用コンセントへの通電、動力機器の再始動といった一連動きを確認してもらい「問題ないですね」と念を押した後、⑥の停止の段階に入った。VCB 投入→60 秒後発電から商用へ切替→180 秒後⑥停止→SOL 復帰となるはずである。

ところが、VCB が入らない。何度やっても入らない。困った。焦った。この場合、いくらでも応急措置の方法はあるが、ただ時間がかかる。事業場には数十名の職員がおり、しかも勤務中だ。ちょっとした事件になるところである。諦めかけて VCB ハンドルをじっと 10 秒程持ち上げていたら、ドンと鈍い音をあげて入った。この時の気持ちは表現できない。VCB は、くしくも 1985 年製だった。こんなことは二度と味わいたくない。勘弁してくれと言いたくなる。

その 3：夜勤があった昨日の深夜、突然場の照明がフリッカし、同時に場内放送スピーカーから異様な唸り音が鳴り続いた。しばらくしておさまったが……客先から朝早くこんな電話があり、話を聞いているうちにオカルト映画のワンシーンを想像してしまった。早速、電力会社に電話をし、昨夜配電線の停電が無かったかを問い合わせる。回答は「ない」であったので構内事故と断定。開放型の屋外変電設備がまだ残る古びた工場。なので、接触不良と欠相による症状を疑って、目視点検と全停電してメガーメーター測定も行ったが原因がわからなかった。工場長に「お化けがいたずらしたのでは」と冗談交じりで笑わせたが、気持ちは晴れない。

午後になって、連絡責任者の方から電話があった。屋外変電設備の P C S から火花が

見えジリジリと音がしている、燃えそうだ。どうやら、昨夜のお化けが出てきたようだ。工場に着くと、スピーカーからの唸り音が工場内に響き渡っていた。

よく見ると、P C S 1 個に目視では見落とし易い反対側にひび割れがあって、火花は隙間から見えた。



取外してみるとヒューズホルダーが割れしており、断線こそしていないがまさに焼損寸前であった。1973 と表記されているので 48 年間も過酷な自然環境に耐えてきたことになる。ご苦労さんといえばよいのか。

それぞれに共通点がある。更新推奨時期をとっくに過ぎた機器であること、である。追究し検証してみると、予知できない想定外のことでは無く、起こりうる事故として捉えることができる。予知する感性が未熟なのだと思う。ただ、失敗は新たな事象を脳にインプットしている。危険であれ事故であれ無意識のうちに予知する感性が磨かれていると考えたい。似たような場面で失敗をしても慌てる事ことがなくなるからである。

我が家の宝物

新庄地区 会員番号 451 笠原 政彦

我が家は、物ではなく家族が健康でいる事です。子供たちが独立し我が家は妻と二人の生活をしています。自分たちの趣味を生かし、妻は畑と花を育てる事が大好きで、この生活を満足して過ごしています。私は、健康の秘訣として自然を満喫する事が大好きなので、毎年行っている事を一例として紹介します。

私は、毎年新緑を見に山登りをします。自宅から車で未舗装道路を含めて1時間くらい走ると神室山登山口まで行けますが（標高500m地点）、今年は残雪が多くて登山口

まで車で行けない状態でした。

今年の山開きは、5月29日（日曜日）でした。当日の神室山頂には、雨の中女性・男性含めて50人程が登頂されたとのことでした。

山開き後の6月5日は好天に恵まれたので新緑の空気を吸ってきました。下の写真は目的の3段滝までの途中に有る滝で落差は50m位、この付近の新緑景色が見事です。ここは標高800m地点で、登山口から獣道や川沿いに歩いて概ね1時間30分程で着きます。



神室山登山口 根の崎ルート



3段滝までの途中にある落差50m位の滝



今年は残念ながら目的の3段滝までは悪路や雪崩の雪(クレパス)が多くて行けませんでした。本来ならば頂上からは下に秋田県と宮城県を結んでいた旧国道の仙秋ラインが見られます(現在は通行止めです)。

帰り道の脇には、この時期には山菜が大きくなり過ぎて食べられないのが普通ですが、こここの場所は今が旬の季節でした。



残雪の間から蕗の薹が出ています



雪の消えたところからアイコが出ていました

このように帰りは、山菜が食べてくださいと語りかけて来るので山菜採りに夢中なり、リック一杯に沢山の種類の山菜が入り、重さで道中苦労しながら降りてきました。

帰り道は、山菜採りを含めて2時間30分程で登山口まで戻り、時計を見たら山道探索4時間程でした。

今年も新緑をじゅうぶんに満喫した1日でした。



好き嫌いの意見がわかる山ウドです

3本出ています



おすすめスポット 地元自慢

健康づくりに

「クアオルトウォーキング」

山形地区 会員番号 931 鈴木 敏明

私は運動が苦手で唯一出来るのは歩くこと。そこで、上山で推進しているクアオルトウォーキングを、地元で開催する毎週木曜日の2時間可能な限り参加しています。

クアオルトのポイントは2つ

① 目標心拍数 160-年齢

楽しく頑張らないで歩くことが出来る

スピードの目安 (私の場合 95)

② 体表面は冷たくサラサラ

(出発時より体表面温度を2°C以上低く)

になると、皮膚の毛細血管が収縮

↓

体表面の血液が筋肉へ移動

↓

酸素と栄養が行き届いて筋力増強



自然豊かなコースを歩くことにより気候の4要素を吸収

1. 太陽光 (紫外線B波) ビタミンD3の合成、骨の強化、免疫力活性

2. 可視光線 体内の24時間リズムの調整、深い睡眠

3. 清浄な空気 呼吸器系、アレルギー改善

4. 冷気と風 持久力強化、免疫システムの改善、血液循環機能アップ、体温調整機能アップ以上、ドイツの気候性地形療法です。





我町中山宿 江戸時代は、上杉領と上山領との境に位置し、中山城がありました。

クアオルトコースは、桜公園（バイパス開通記念）、中山城跡、天守山を通るルートです。天守山からは蔵王が一望でき、ホットするひとときです。

西山形への南山形幹線の鉄塔も見えます。

参加者との会話も弾みあつという間の2時間です。あまり無理をせず、ウォーキングして体をつくるとでも良いことだと思います。花粉症も低減されました。

上山でなくとも近くの森林浴でも充分効があると思います。皆さんも近くでやられてはどうですか。

上山には地域毎コースがあります。詳細は、ネットで検索。下記のコメントで検索して下さい。

「クアの道 コースマップ」

上山市ホームページ」



中山城：1958～72年頃、伊達氏の家臣中山弥太郎（中山の地名の起源）が伊達領を最上勢から防塞するため天守山に三段の曲輪からなるお城を構築した。



業績者表彰

10年を表彰して

鶴岡地区 会員番号 797 宅井 二郎

平成 21 年 3 月、 33 年勤務した電気工事会社を退職し自由の身になったので、 5 月中旬、 家内と一緒にオーストラリアの北シドニーのチャツウッドに 1 カ月程アパートを借り、 50 年前に私が電工としてアルバイトをしていたシドニーから西に約 500Km 位離れたオレンジの病院を家内と一緒に見学したり、 私が下宿していたボーディングハウス訪ねたりしてきました。



平成 21 年 6 月 オーストラリア
ケーンズ沖グリーンアイランドにて



空中散歩 家内と共に

又、 7 月中旬には息子と一緒に上海、 蘇州、 北京等旅行してきました。 上海の虹橋で 1 週間午前 9 時から 12 時迄作家の邱永漢が作った永漢日語で中国語の語学研修、 午後からは日本旅行から日本語の出来るガイドを雇い浦東、 蘇州他見学してきました。

次に 10 月初めマレーシアのクアラルンプールで、 又 1 カ月程アパート借り家内と一緒にキャメロンハイランド、 ランカウイアイランドなどでのんびりと過ごしてきました。

平成 22 年は約 1500 m² の田を私の家の直ぐ後ろに借り、 畑三昧、 キュウリ、 トマト、 枝豆、 その他もろもろ、 結局は草に負けました。 現在は畑を約 600 m² に縮小し、 草取りはシルバー人材センターのおばさん方に、 草刈はおじさん方に頼んでおります。 野菜が欲しい方は私の畑に取りに来てください。 大歓迎です。

平成 23 年 5 月備里川氏より「長谷川勉さんが病気になったので、 その代わりにやつてくれ」と御願いされ 9 月に電気管理技術者になりました。 記憶に残っているのが事故の事ばかり。 この年の 11 月に管理者なって最初の年次点検を酒田のエコー環境事業部で実施しましたところ、 気中開閉器の動作試験をしても気中開閉器が動作しない。 テストボタンを押しても動作しない。 年次点検終了後、 気中開閉器不動作の件を事業所の工場長に説明したら「実は 1 カ月位前、

雷が鳴って電話の主装置を直しました]との事。直感で「雷が入った」と考え、数日後に新しい気中開閉器に交換しました。降ろした気中開閉器をメーカーに送って原因調査をしてもらいました。その結果やはり雷でトリップコイルの断線が原因でした。との報告書が届きました。この事故は協会の保険を使用して改修した処、辻本事務長から「新会員がいきなり保険申請したのは君が初めてだ」と怒られた記憶が残っています。

これも 10 年位前の話ですが、水沢にあった事業所の気中開閉器交換時テストボタンで操作した処切れた音も確認、気中開閉器動作ハンドルも”切”の位置確認。ところがキュービクルの電圧計が 6.600V 指示、開閉器の刃が 3 本うち 2 本又は 3 本が切れていた事が分かった。幸い私はいつも 2 次側のブレーカを全部落としてから開閉器を”切”にしますので三相モーター焼損事故にはならなかった。又、引っ込み柱 1 スパン前に仮設用東北電力用気中開閉器を取付けしていたのも不幸中の幸いでした。

これは約 45 年前に私が若くて電気工事会社にいた時の話、電気設備の現場責任者で三川町に新築した山形県庄内工業試験場屋内キュービクルの竣工試験を某協会に御願いした。現在、今の我々と同じ立場の人が 4 人来て各種の試験を実施しました。試験が終了し送電直後、屋内キュービクルで爆発音と共に火花と煙が立ち上りました。耐圧試験時で高圧コンデンサーに 2.0mm の裸線で 3 線の渡り線の撤去をしないまま送電したようです。事故後某協会は私に事故の説明も無、事故報告書も無、随分思い上がりの強い組織だなーと感じました。幸い

試験時に山形県の担当者が立ち会って居なかつたので表沙汰にならなかった。

又、これも約 20 年前、山形空港で発生しました。夜間作業で高圧ケーブルを入替する為、古い高圧ケーブルの端末処理上部の端子を外そうとした処、ラチエットスパナの先端が生きている別回線の高圧ブスバーに接触、同上の事故現象が発生、非常用の発電機が立ち上りました。空港事務所の電気主任者がすぐに飛んで来て「作業員は大丈夫か」と安全を確認後すぐに落ちた主遮断器を再投入してもらいました。幸いに 2 人の作業員はアース工具を取り付けしていたので感電はしなかった。予定していた仕事は朝の 4 時頃迄に終わりましたが後日、事故原因、再発防止対策と数々の報告書を提出させられ挙句の果て、主遮断器の交換もさせられ散々な目に逢いました。この時ほど絶対事故は起こしては駄目だと痛感しました。

電気管理者になって 10 年経ちました。現在 52 件の事業所の管理を行っています。殆どの事業所に絶縁監視装置を取付けしておりますので、月次点検は 2 カ月又は 3 カ月 1 回の点検で毎月 10 日前後に終わります。今年の年次点検も若い電気管理技術者から助っ人を貰い、52 件中 45 件は既に実施済み。7 月,8 月,9 月暑い時期なので年次点検は中止します。

若い時は古い荘内病院、又新築の日本海病院と荘内病院などの電気設備工事にタッチしてきましたが、今まで病院に入院したことはありません。現在、若い電気管理技術者に支えられて仕事をこなしておりますが、私も今年で 74 歳になりますので、そろそろ身の引き処かな?と考えております。

10年を表彰して

酒田地区 会員番号 791 江澤 徳之

この度はこの様な賞をいただき大変感謝しております。

約 10 年前に入会した時は何も分からぬ状態でした。この協会に入会するまでは業種の異なる仕事をしていました。その為先輩方には大変ご迷惑をお掛けしたと思います。このような私に丁寧に指導してくださった先輩方には感謝してもしきれません。

入会したての頃に年次点検の際にPASの不具合で投入出来なかった時には先輩に様々な業者に連絡してもらい事なきを得た事もありました。

また、私の後に入会してきた方々も電気に携わる仕事をしてきた期間で考えれば先輩といえる方々でしたので、大変助けてもらいました。特に同年代の方々とは一緒に仕事をすることも多くプライベートでもお付き合いすることがあり楽しく過ごすことができました。

皆様方のお陰でどうにか過ごしてきた 10 年だったと思います。私に関わってくださった方々には感謝しております。

これからもいろいろな方々にお手数をおかけするとは思いますが、事故を起こすことの無いように日々業務を続けていきたいと思います。



支部の主な動き

※ 協会本部の理事会や各委員会などについては、本部の会報をご覧ください。

～これまでの経過～

区分	名称	日程	場所	備考
県支部	支部だより No.62 発行	R4/1/10(金)	-	-
	第3回支部役員会	R4/2/28(月)	山形ビッグウイング	15名
	賛助会員入会面談	R4/3/5(木)	山形ビッグウイング	4名
	会計監査	R4/3/30(木)	山形ビッグウイング	7名
	山形県支部通常総会 並びに第1回支部研修会	R4/4/27(水)	日本の宿 古窯	44名
各地区	置賜地区 第1回地区研修会	R4/6/30(木)	倉寿し(南陽市)	11名
	鶴岡地区 第1回地区研修会	R4/7/6(水)	盛華樓(鶴岡市)	7名
	天童・寒河江地区 第1回地区研修会	R4/7/20(水)	奥蔵(天童市)	9名

～これから予定～

区分	年度	名称	日程	場所	備考
各地区	R4	山形地区 第1回研修会	R4/8/10(水)	ヤマコホール	
県支部		電気保安教育研修会	R4/9/8(木)	寒河江技術交流プラザ	100名予定
各地区		酒田・新庄 各地区研修会	未定	-	

～支部会員の動き～

区分	地区	氏名	日付
正会員	入会	山辺町 福躍 義和	R4/2/28
		小国町 横山 慎蔵	R4/3/10
賛助会員	入会	酒田市 飛沢 佳亮	R4/3/8
		山形市 目黒 初雄	R4/7/7

会員数 (R4年8月1日現在)
正会員数 62名
個人賛助会員 13名
企業賛助会員 4社

＊＊＊＊ あとがき＊＊＊＊

広報委員 岸 勇一

風呂場のシャンプーを手に取り頭を洗ったのですが泡が立ちません。シャンプーの容器には確かにシャンプーと書いてあります。たぶん中身はコンディショナーで誰か間違って補充したのだと思います。もう一つの容器にはコンディショナーが入っており、コンディショナーの容器が2本になってしまいました。次の日容器ごとシャンプーを買ってきました。その夜風呂場で今日買ってきたシャンプーを手に取り頭を洗ったのですが泡が立ちません？その容器を見るとコンディショナーの文字です。我が家にはコンディショナーだけ3本になってしまいました。年は取りたくないものです。

支部だより No. 63

令和4年8月1日発行

(一社) 東北電気管理技術者協会
山形県支部

〒990-0863

山形市江南四丁目10番14-10号

T E L 023-665-1070

F A X 023-665-1071

Eメール info@eme-yamagata.com

編集責任者 広報委員／岸 勇一